

平成 29 年度 淡路高校支部報告（研究大会）

- 1 日 時 平成 29 年 10 月 27 日（金曜日）14 時～16 時 30 分
- 2 場 所 淡路市立東浦図書館（淡路市立サンシャインホール）
住所：淡路市浦 148-1
- 3 内 容 淡路地区学校図書館教育研修会
・講演会
・淡路市立東浦図書館（見学）
・各地区情報交換会（淡路高校支部各校担当者）
- 4 講 師 神戸松蔭女子学院大学 教授 秋田久子 氏
- 5 参加者数 淡路高校支部 高等学校 計 5 名

6 事例、感想、参考文献等

（事例：講演内容）

淡路地区学校図書館教育研修会（平成 29 年 10 月 27 日（金）実施）

(1) 講演内容

- ・NIE との出会い……学校学力と社会の求める学力との乖離に気づく
- ・「便利」の中で消えるもの……世間、社会、繋がり、そして『私』
- ・次期学習指導要領に思うこと
- ・図書館とNIE との連動について……「つながり」実感の仕掛けの後押し



・NIE の活用の実践例を伺いとても参考になった。

(2) NIE ワークを体験

上記写真掲載

- ・提示された同内容の新聞紙（A3判）を各受講者が手にして、ワーク体験を行った。



(参加者感想)

- ・今後、「図書館」が社会のなかで「人生の質」を高める場としての役割を果たすことについて解説していただきました。

また、テレビやスマートフォンのニュースとは異なり、「新聞紙」の面積が、そのとき・その日の社会の出来事を映し出すだけでなく、社会の持つ価値観をも見る側に伝える大きな役割をはたしている事を、実例を用いて丁寧に話してくださいました。



- ・高校教師の先輩でもあり、学校現場での実践がひしひしと理解され、今後の学校図書館の活用、そして NIE の取組について学習を深めることができました。
- ・高等学校間の交流を主に行っている者にとって、小・中学校教師との交流はこれまでの生徒の学習を振り返る良い機会となった。また、聞き得た情報は今後役立つと感じた。

(図書館関係・高校の部交流)

- ・本年12月16日(土)ビブリオバトル兵庫県大会・本選についての情報交換等を話し合う。
各校の取組状況について
2学期以降の実施に向けた取り組み状況
現時点での取り組みと今後の課題について
- ・淡路高校支部としての今後の取組について
連絡確認事項
その他

(淡路市立東浦図書館の見学)

- ・参加者が、各研修後に東浦図書館を見学した。
- ・図書館長から、イベントや各種取組・利用者状況等の説明を受ける。
淡路市内の図書館利用者の年齢別項目として、13歳から20歳までの利用者数が少ないとの話があった。学校図書館と市立図書館の利用などについて、今後注視すべき事柄であると感じた。